

# 札幌青葉鍼灸柔整専門学校における成績管理

## 1. 出席管理

- ・講義、実習すべて 2/3 以上の出席が必要
- ・遅刻：授業開始後 30 分以内に入室した場合は遅刻（その後は欠席）
- ・早退：授業終了前 30 分以内に退室した場合は早退（その前は欠席）
- ・遅刻・早退は 3 回で欠席 1 回とする

## 2. 講義および実習における合格基準

- ・筆記試験の成績、出席状況、受講態度等を総合的に評価する。
- ・五段階評価：「秀」（90 点以上）、「優」（80 点以上 89 点以下）、「良」（70 点以上 79 点以下）、「可」（60 点以上 69 点以下）および「不可」（59 点以下）
- ・「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格とし、「不可」を不合格とする。

## 3. 追試験・再試験

### (1) 追試験

- ・やむを得ない理由で定期試験等を受験できなかったと認定された場合には、追試験を受験することができる。
- ・追試験の満点は 100 点とする。

### (2) 再試験

- ・定期試験に不合格であった者、あるいはやむを得ないとは認められない理由で定期試験を受験しなかった者について行う試験
- ・再試験の満点は 60 点とする。

## 4. Grade Point Average (GPA) を用いた成績評価

### (1) 授業の履修

授業を「履修した」と認定されるためには、**(1) 当該授業科目の授業に 3 分の 2 以上出席し、(2) 試験を受験し、(3) 一定の水準以上の成績を収めなければならない。**

### (2) 成績評価の方法と種類

- ①成績の評価は、授業を「履修した」と認定された者に対し、試験等の成績、出席状況、授業の受講態度、その他を総合的に判断して成績を評価する。なお、当該授業科目における成績評価の詳細については、シラバスを参照すること。
- ②当該授業科目を「履修した」場合の成績評価は、100 点を満点とし、**「秀」**（90 点以上）・**「優」**（80 点以上 89 点以下）・**「良」**（70 点以上 79 点以下）・**「可」**（60 点以上 69

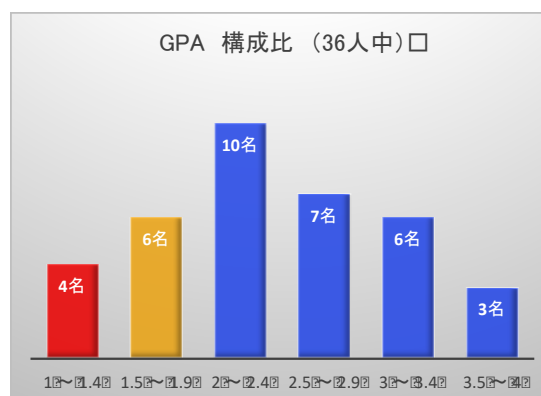
点以下) および「不可」(59 点以下) の 5 段階で評価され、「可」以上を合格とする。

### ③G P A (Grade Point Average : 科目成績平均値)

G P Aとは、米国の大学で一般に行われている成績評価方法で、学生一人ひとりの履修科目の成績の平均を数値で表すものである。学生が履修した各授業科目の評価に一定のG Pを与え、このG Pにその授業科目の単位数を乗じ、その合計を、履修届を出した履修科目の単位数の合計で除して算出する。

$$\frac{[(\text{評価を受けた授業科目の GP}) \times (\text{その科目の単位数})] \text{の合計}}{\text{履修届を出した履修科目の単位数の合計}}$$

成績評価		G P
90 点以上	秀	4
80～89 点	優	3
70～79 点	良	2
60～69 点	可	1
不可・不履修		0



④G P A が 2.0 以下の学生に対しては、クラス担任 (成績によっては学科長・校長) が個別に学修指導を行う。

## 5. 成績評価の学生への通知

- ・学生本人に、年度末に当該年度における成績及び出席状況について評価表を作成して通知している。

## 6. 学生指導への活用

- ・半期ごとに GPA を算出し、GPA が 2.5 未満の学生に対してはクラス担任による個別面談を、また 2.0 未満の学生に対してはクラス担任と学科長による個別面談、個別指導を実施している。

## 7. 卒業の認定

- ・本校の 3 年間の課程において開講されるすべての授業科目を履修し、すべての試験に合格して、すべての単位を修得した者について卒業を認定する。
- ・定められた納付金を卒業認定前までに完納していること。

- ・以下の各分野における授業科目をすべて履修し、単位を修得した者について卒業を認める。

☆鍼灸学科（昼間部・夜間部）

・基礎分野	14単位（210時間）
・専門基礎分野	29単位（555時間）
・専門分野	70単位（1,905時間）
計	113単位（2,670時間）

☆柔道整復学科（昼間部）

・基礎分野	14単位（210時間）
・専門基礎分野	44単位（705時間）
・専門分野	54単位（1,845時間）
計	112単位（2,760時間）